

②農村計画学会2010年度秋期シンポジウム（第2報）

学術交流委員会

テーマ：“青森さよく来たな～。さ、かっちょどかだるべ”
—農村女性起業活動の理念と実際（仮題）—

趣旨：農林漁業の第六次産業化により、地域の農林水産資源に多様な付加価値をつけて、農林漁業を、そして農山漁村を活性化していくことが強く望まれている。農村女性は、生産者であると同時に、家庭を支える消費者でもあり調理人であることから、農と食をつなぐ視点を有していて、農業の第六次産業化による地域活性化に大きな役割を果たすことが期待される。

その一方で、古くからの農村社会の中では、女性は農業経営やむらづくりの脇役に追いやられることが多い。農村女性起業は、自己実現なのかビジネスなのか。そして農村女性起業は農山漁村にどのような影響を与えているのか。農林水産省が平成4年に農村女性起業の推進を提示してから20年近く経過した。東北6県はいずれも農村女性起業件数が全国トップクラスである。青森の地で開催される農村計画学会秋期大会シンポジウムにおいて、青森の元気な農村女性を囲んで、農林漁業と農山漁村の明るい未来を目指すため、大いに語り合おう！

日時：2010年12月11日（土） 13：00～17：30

場所：弘前大学コラボ弘大8階 八甲田ホール

プログラム（暫定版）

- 13：00～ 開会挨拶
- 13：15～ 趣旨説明
- 13：30～ 話題提供1 青森県における農村女性起業 青森県農林水産部担当職員
- 14：15～ 話題提供2 私たちの起業 青森県内の農村女性グループによる起業代表者
- 14：45～ 話題提供3 私の起業 青森県内の農村女性による起業家
- 15：15～15：30 休憩
- 15：30～ パネルディスカッション
- 17：20～ 閉会挨拶